

くみあいニュース

山口大学教職員組合 (2025 年 10 月 27 日 Monday)

第 298 号 (2024 年度-第 10 号) / 電話 : 083-933-5034 ・ メール : fuy-union@galaxy.ocn.ne.jp

意見締切前に役員会(10/23)で「議決」、意見は概要のみ配布

■反対集会翌日開催の経営協議会・役員会

10 月末を目途にと言っておきながら、10 月 22 日 (水) の合同反対集会参加者からの抗議の翌日 10 月 23 日 (木) には、午前 10 時からの経営協議会で了承し、その直後の役員会で議決事項として諮り、議決したことが明らかになっています。これらの会議には資料として改定額・時期、学習環境整備計画 (22 億円強)、経済的支援 (授業料減免見込額)、審議経過等の他、10 月 8 日 (水) の学生説明会概要・ご意見フォームへの意見 (93 件) 意見概要及び学習環境整備要望 (10 月 16 日着までのもの、いずれも AI「NotebookLM」を用いた解析) が配布されています。



意見に目を通すと言いながら人工知能にまとめさせた概要であり、生の声は示されていません。しかも 10 月 17 日から 10 月 23 日までの間のフォームへの意見は黙殺同然、内容を見ることなく議決したのはあまりにも不誠実な対応と言えます。

* 役員会での議決を知った組合が担当課長へ質したところ、議決はされたが最終決定となる学長決裁は 27 日 (月) 正午のアンケート締切後になるのでは、とのことでした。

■組合から学長へ対し意見交換申入れ

この他、10 月 17 日 (金) に谷澤学長宛に 10 月 27 日までに組合との財政状況に関する意見交換の場を設定するよう申し入れていましたが、10 月 24 日午後 5 時頃、小笠原財務課長から回答がありました。10 月一杯は学長の対応できる時間がなく、11 月 12 日 (水) もしくは 11 月 17 日 (月) の朝 9 時からの 1 時間しかない、との回答がありました。学長がいかに多忙であっても、10 月 30 日 (決定公表予定日) までわずか 30 分の空き時間すらないのでしょ。ここでも「対話拒否」の姿勢が露呈されています。

■学生の要請書に対する無回答・無反応

もう一つ大きな問題は、10 月 6 日 (月) に学費値上げに反対する学生たちが届けた要請書に対する回答を、指定日の 10 月 8 日正午はおろか、現在になってもまったく無視しているという、「対話と合意」に究極に反する学長の姿勢です。学生が再度確認したところ、要請書を預かった総務企画部長からは、自分は担当ではない、(学生の) 正式な意見受付窓口は“ご意見受付フォーム”になっている、とのメール連絡があったそうです。すべて AI に任せると言うのでしょうか。10 月 22 日の大抗議集会の進行と抗議する学生や教職員の姿に目を閉じ、抗議の声に耳を塞いだまま「逃げ切る」構えは許されません。



【この間のおもな経過——山口大学・教職員有志・学生有志の会ほか】

<9 月>

<10 月>

1 日 (月)	総合型選抜出願期間開始 (9/4 締切)	6 日 (月)	【山口大学学生有志の会】学長へ要請書を提出
2 日 (火)	部局長会議 (第 253 回) * 提示なし	7 日 (火)	部局長会議 (第 254 回)
4 日 (木)	総合型選抜出願期間締切	8 日 (水)	学長による学生対象説明会 (対面会場: 工学部)
9 日 (火)	教育研究評議会 (第 270 回)	10 日 (金)	* 埼玉大学、学費値上げ決定を公表
24 日 (水)	経営協議会 (129 回)、役員会 (325 回)	11 日 (土)	【山口大学学生有志の会】オンライン署名開始
25 日 (木)	学長、授業料値上げ検討を大学ホームページ上で「公表」	17 日 (金)	【山口大学教職員有志】学長へ抗議声明を提出
26 日 (金)	* 名古屋工業大学、学費値上げ決定を公表	22 日 (水)	3 大学合同学費値上げ反対集会 (アピール文を学長へ提出)
28 日 ~ 30 日 (火)	総合型選抜入試	23 日 (木)	経営協議会 (130 回)・役員会 (326 回)

【組合のおもな取り組み】

10 月 2 日 (木) 学長に対する質問書提出 ⇔ 10 月 10 日 (金) 大学より回答提示
 10 月 17 日 (金) 学長との意見交換申入書提出 ⇔ 10 月 24 日 (金) 大学より回答

山口大学授業料値上げNo！

来年度入学者から、学費が約11万円近く値上げ？

～これまでの経過とこれから～



9月25日

HP上で学費値上げ検討を発表
メールや重要なお知らせでの通知なし
→学生・教職員の大半は学費値上げ
検討を知らない

10月8日
学生説明会

常盤キャンパスでのみ対面で、本部
キャンパス(吉田)・小串は
オンライン
詳細(値上げの対象、金額、時期な
ど)については具体的な説明なし
→極めて不誠実！



10月23日

経営協議会・役員会

学長＋一部の役員＋経営者など
だけで決定か！？
※意見受付フォームメ切は10月
27日正午だけど…先に決定！？



10月30日

学長記者会見

メディア・社会にお知らせして
確定事項にするのか！？



学費値上げで一番負担を強いられるのは学生なのに、
学生の手をまともに聞かずにスピード決定は困る！
じゃあどうすれば？？

↓↓↓

・署名に協力して、友人やSNSに拡散しよう！

・抗議集会(10月22日(水)12:00~13:00 @FAVO横)に集まって声
を上げよう！その後皆で一緒に大学に抗議文を提出しに行こう！

山口大学・広島大学・九州大学合同学費値上げ反対集会アピール

2025 年 9 月 25 日、**突如**として山口大学ホームページ上に「授業料改定に関するご理解のお願い」が公表。学生も教職員も**寝耳に水**でした。

私たち学費値上げに反対する学生有志は、2025 年 10 月 22 日に山口大学で開催された「山口大学・広島大学・九州大学合同学費値上げ反対集会」において、「大学自治・学生自治の精神を無視した山口大学の学費値上げ計画に反対し、ともに抗議する」をテーマに、山口大学・広島大学・九州大学・京都大学の学生・教職員・市民の方々と活発な議論を行いました。そのうえで、学生・教職員を無視した決定プロセスの見直しを要請するとともに、授業料値上げに反対します。

なぜ決定プロセスの見直しを要請するの？

・1 番の当事者である高校生が蚊帳の外

授業料を値上げするということがホームページ上で公表された 9 月 25 日は、もうすでに総合型選抜入試の出願は**終わった後**で、試験日の**直前**でした。他の入試日程にしても、最終的な出願まで**あと数ヵ月**しか残されていません。このようなタイミングで、授業料値上げの議論を始めるとするのは適切でしょうか？山口大学への進学を目指して努力してきた**受験生に対する背徳行為**です。

タイミングだけの問題ではありません。大学へ進学した後、授業料の負担がどれだけ学生・保護者に重くのしかかるかということを全く理解していません。

・授業料負担を 1 番理解している学生・教職員も無視

今、大学で学んでいる学生は、高校から進学後、授業料による負担がどれだけ重いのかということを身に染みて感じています。

「何のために進学したのか分からない」「アルバイトで研究どころじゃない」「今の授業料ですら限界」「これ以上の学費負担はもう無理」「奨学金返せるだろうか」「親に迷惑をかけてるんじゃないか」

教職員も授業や窓口で学生と 1 番対峙しており、経済的理由で退学していく学生や授業料負担に押しつぶされそうな学生の姿を 1 番よく分かっています。

にもかかわらず、その**学生・教職員は今回の授業値上げの議論から排除**されています。なぜ私たちが今回の授業料値上げに反対するのか、その経過も含めて詳しくは私たちの X([@yamadaigakuhi](https://twitter.com/yamadaigakuhi))をご覧ください。

請願項目 (1)

授業料値上げに反対します

請願項目 (2)

決定プロセスの抜本的見直し—公開と民主的議論を要請します

学費値上げ反対の声 キャンパスに響き渡る！(10/22)

2025年10月22日(水) 山口大学吉田キャンパスでは、ここ数十年なかった光景が出現しました。昼休み開始の12時から吉田キャンパス・福利厚生施設 FAVO 前広場で、山口大学・広島大学・九州大学の学生有志による「3大学合同学費値上げ反対集会」がおこなわれました。当日急きょ、京都大学の学生有志も駆けつけ、4大学合同での反対集会となりました。集会は、山大学生の発言から始まり、教職員有志・山大教職員組合・広大学生・九大学生・京大学生からそれぞれ、「断固反対!」、「白紙撤回すべき!」、「情報公開と誠実な対話を!」など訴えが続くと、立ち止まって耳を傾ける学生が次第に膨れあがりました。聴衆の多くは、スピーカーの訴えに相槌を打ち、拍手をし始めていました。そうした光景だけでも長らく見られなかったものですが、集会の締めとして、シュプレヒコール※にも応える声が響き、最後に「用意したプラカードを持って抗議のデモ行進にともに参加しましょう!」との訴えに、はじめは躊躇していた学生たちが1人、2人とプラカードを手に取り、「学生の声をきけ!!」「学費値上げ反対!!」の横断幕のもとに続き始めました。いざ行進が始まると、その列に次から次へと学生、そして教職員が繋がり、デモ行進は100人近い数となりました。



行進は、経済学部・教育学部脇を通過して共通教育棟前から事務局1号館への坂道を上りきり、3階の学長室を見上げる形で抗議の声をあげた後、多くの学生が学長室に向かい、対応した学長室責任者と応酬した後、集会で承認されたアピール文を渡して抗議行動を終えました。

学長、そしておそらく在室していたであろう役員が学生のシュプレヒコールを受けて、今回の発議と一連の対応の愚かさに気付いたかどうかは定かではありませんが、少なくともこれまでどおりの構えで進めることは得策でないことは分かったのではないのでしょうか。

※ここでは、集会やデモなどで訴えやスローガンなどを全員で一斉に叫ぶことを指します。

3大学共同反対集会 呼びかけビラ配布をやめろとは・・



反対集会の開催を前に、有志の学生会生たちが、当日朝、山大正門前で集会への参加と署名をマイクで呼びかけ、ビラ配布をおこなったところ、受け取り拒否の学生はごく一部で、9割以上の学生がビラを受け取っていたとのこと。たとえば商店街等での街頭ビラ配りの場合、気持ちよく受け取ってくれる方は多くて3人に1人くらいの割合であることと比べれば、「学費値上げ反対」問題への山大学生の関心が非常に高いことが示されたと言えます。その後、学生たちが場所を変えて、午前10時過ぎに会場のFAVO前で正門前同様にマイクで呼びかけながらビラを配っていると、しばらくして学生支援部の職員2人が現れて、ビラ配布を制止されたため、学生たちはやむなく中止したそうです。

これを聞いた組合は、直ちに学生支援部へ出向き、担当と思われる職員に「学生のビラ配布をやめさせたそうだが、話がある」と伝えたところ、その場にいた学生支援部長は「今、業務中なので別室をお願いします」と。そのため、同室最奥の面談室らしき部屋で担当者2人に根拠規則等の提示を求めたところ、示されたのは、課外活動団体による新入生勧誘等のビラ・チラシの配布は学生支援課へ申し出ることとされているとの定めのみで、再確認してもそれ以外の定めはないことが判明しました。学生たちは早速、再度ビラ配布を再開し、ことなきを得ましたが、この「事件」を見ても、大学側が自らの不当な行いを棚に上げて、根拠もなく活動を規制するという、なりふり構わない対応に入り込んでしまっていることは明らかです。大きく言えば、憲法第21条に定められている「表現の自由」を侵害することまでし始めた山口大学と言えます。

日本国憲法第21条 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由はこれを保障する。(第二項略)